

冬も

楽しいイベント いっぱい!

くわぶくろ
桑袋ビオトープ公園

ニュースレター

1
2016



野鳥ウォッチング

園内の池や林にやってくる野鳥を、
双眼鏡そうがんきょうを使って観察かんさつしてみよう。

1月24日(日)



どんな野鳥がみられるかな?

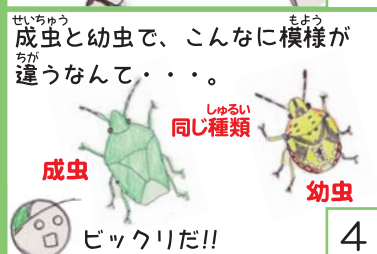
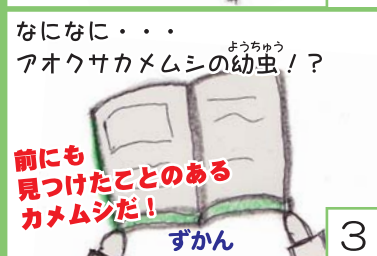
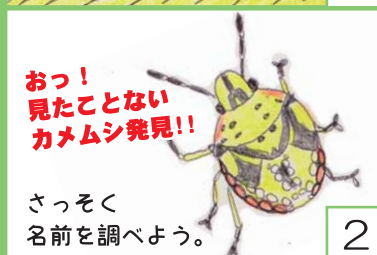
ジョウビタキ



ヒドリガモ

時間 午後2:00~3:00 (午後1:45から受付開始) / 定員 20名 (先着順)
対象 どなたでも (就学前の子どもは保護者の参加が必要) / 参加費 無料

4コマ劇場



ビオトープネイチャークラフト

落ち葉こえだや小枝、木の実など、
園内の自然素材しぜんそざいを使って工作ちようせんに挑戦!

1月10日(日)

時間 午後2:00~3:00 (午後1:45から受付開始) / 定員 20名 (先着順)
対象 どなたでも (就学前の子どもは保護者の参加が必要) / 参加費 無料

作品例



自然のあそび屋台

落ち葉などの自然素材しぜんそざいを使ったクラフトや
生き物観察など、冬ならではの自然の見どころや遊びを、
屋台しょうかいに出して紹介するよ。

1月11日(月祝)、17日(日)、31日(日)

時間 午後2:00~2:30 / 対象 どなたでも / 参加費 無料
場所 うき島池観察デッキ横 ※荒天の場合、外での活動を中止する場合があります。

地面に葉っぱを平らに広げた植物の姿

ロゼットをスケッチ!



年末年始の休園のお知らせ

12月28日(月)~翌年1月4日(月)まで休園です。
年明けは1月5日(火)から開園します。

公園のみどころ紹介

留鳥だって旅をする！

留鳥観察のススメ

冬は木の葉が落ちて、野鳥観察がしやすい時期です。冬の野鳥観察といえば、遠く北の方からやってきた冬の渡り鳥（冬鳥）がメインになる事が多いです。しかし実はスズメやシジュウカラ、カルガモなど、一年中見られる野鳥（留鳥）を観察することもオススメなのです。



スズメ



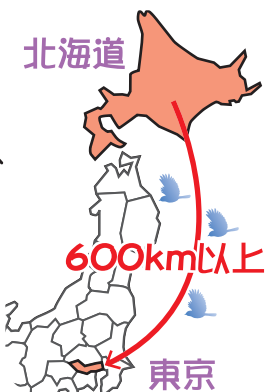
シジュウカラ



カルガモ

小さな体で大移動

留鳥といっても一年中同じ地域にいるのではなく、移動することもあります。例えばシジュウカラの中には、約1ヶ月足らずで北海道から東京まで600km以上移動した個体もいるようです。シジュウカラは昆虫や木の実などを食べますが、そうした食糧を求めて移動したのでしょうか。一年中いる鳥が、いつも同じ個体だとは限らないのです。野鳥観察の際は、どこからやって来てどこへ行くのか、ということにも思いをはせてみてはいかがでしょうか。



【解説員 井坂】

ビオトープ生き物図鑑

NO.8 ニシキギ



見つけやすさ 易しい ★★★★★ 難しい

世界三大紅葉樹の一つで、紅葉が錦の織物のように美しいことから「ニシキギ」と名付けられたそうです。サンクチュアリに生えており、園路から見るができます。

ボランティア日記

11月14日（土）

ガマの刈り取り

ガマの穂



今回は、うき島池周りのガマの刈り取りを行いました。ガマにはソーセージに似た穂がついており、放っておくと種が飛んで、ガマが増えすぎる原因になります。

多くのガマが茂っていて、刈り取り作業に思った以上の時間がかかりましたが、作業後はすっきりとした景観になりました。ガマを刈り取ることが池の保全になっていることや、今回刈り取ったガマをイベントで皆さんに利用してもらえらることを思うと、冷たい雨も気になりませんでした。

【4期生 横尾】

ご利用案内

開園時間

11月～1月
9:00～16:30

2月～10月
9:00～17:00

休園日

月曜日
(祝日の場合、直後の平日)

年末年始
(12月28日～翌1月4日)

入園料 駐車場

無料 無料(11台)

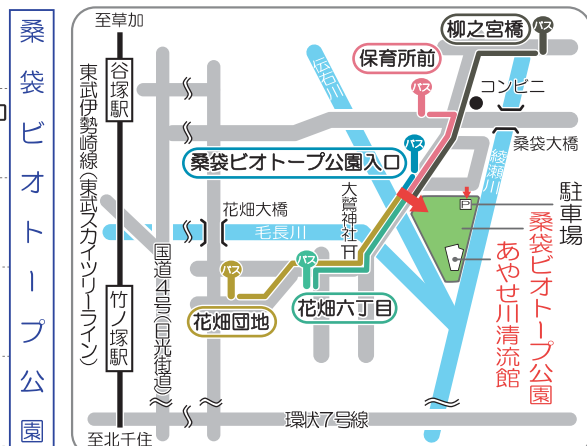
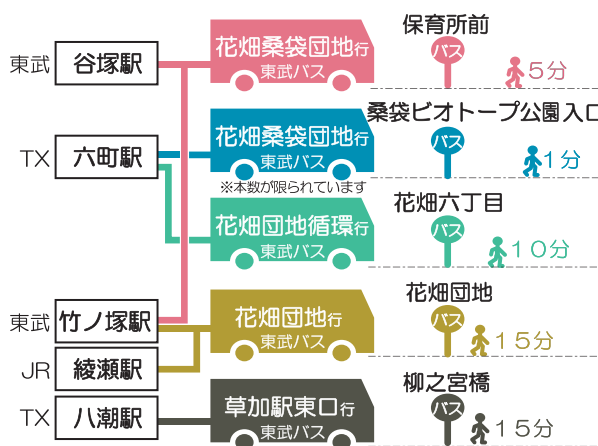
お問い合わせ先

桑袋ビオトープ公園(あやせ川清流館)
〒121-0061 足立区花畑8-2-2

TEL: 03-3884-1021
FAX: 03-3884-1041
HP: <http://ces-net.jp/biotop/>
E-mail: bio-park@ces-net.jp

交通案内

東武伊勢崎線(東武スカイツリーライン)「谷塚駅」から東武バス「花畑桑袋団地」行きで「保育所前」下車、徒歩5分



※ご利用には通信料がかかります。
※機種によってはご覧いただけない場合があります。